

教科	国語	科目	国語総合		講座	1年	種別	必修
単位数	4	教科書	国語総合(教育出版)					
副教材	改訂新版最新国語便覧、基礎からの古典文法 国語辞典、古語辞典、漢和辞典							
授業形態	講義、グループ学習、発表 など							
科目の目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語分野に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 文章を論理的に理解し、思考する力。 2 自分の意見を筋道立てて述べる力。他者の意見を聞き、それを踏まえて自分の意見を深める力。 3 古文・漢文読解のための基本的知識。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	現代文分野	【1学期】 ・評論一 自由な主体になるために ・小説一 羅生門 ・表現 スピーチ・紹介 【2学期】 ・評論二 水の東西 ・詩 鶯のうへ他 ・表現 報告・実用的な文章 【3学期】 ・随想 薔薇のボタン ・評論三 ・表現 話し合い	・筆者の主張を的確に読み取る力を養う。 ・登場人物の心理の変化を読み取り、小説のおもしろさを理解する。 ・相手を意識した話し方を考える。 ・論理的な文章を読み解き、論理的思考力を身に付ける。 ・詩を味わい、作者の心情を考える。音読の工夫をする。 ・実用的な文章を読む力を身に付ける。 ・筆者のものの見方や考え方を読み取り、戦争の不条理性について考える。 ・筆者の主張を的確に読み取り、論理的文章を読み解く力を養う。 ・適切な情報を用い、場に応じた適切な表現を考える。					
古典分野		【1学期】 ・古文入門 児のそら寝 ・漢文入門 訓読の基礎 名言 【2学期】 ・随筆 「徒然草」 ・史伝 晏子之御 ・物語 「伊勢物語」 ・詩文 江雪・江南春・春望 雑説 【3学期】 ・和歌 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 ・日記と紀行「土佐日記」 ・思想 「論語」「孟子」	・歴史的仮名遣いなど古文を読むための基本的知識を学ぶ。 ・説話の面白さを読み味わう。 ・訓読のきまり(返り点・送り仮名・基本句形・書き下し文)を理解する。 ・古文の基本を理解し、筆者のものの見方、考え方を読み取る。 ・訓読のきまりに従って訓読する力を身に付ける。 ・作中の歌を物語の文脈に沿って解釈し登場人物の心情を理解する。 ・歌に詠まれた情景や作者の心情を把握する。 ・漢詩の決まりを理解し、鑑賞する。漢文の文章を読み解く。 ・和歌の基本を理解し、中古に生きた人々の心情や生活を考える。 ・日記文学の特徴を理解し、古文を読む力を養う。 ・孔子や孟子の人生観や人間観、理想の政治について理解する。					
	評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重し、向上を図ろうとする。		目的や場に応じて話し、的確に聞き取って話し合い、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読むことで自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。			
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。								
学習のアドバイス	1 予習や課題にしっかり取り組もう。 2 日頃からノートの整理をしっかりと行おう。学期末にはノート提出があります。 3 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、自分の考えをさらに深めてみよう。							
その他	特になし							

教科	国語	科目	国語表現	講座	2年C講座	種別	必修
単位数	2	教科書	国語表現 改訂版(大修館書店)				
副教材	改訂増補最新国語便覧、国語辞典、テスト式国語常識の総演習〈修訂三版〉						
授業形態	講義、演習、グループ学習、調べ学習、発表 など						
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上、社会生活の充実を図る態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 コミュニケーションの総合的な力。 2 自分で考え、自己の主張を論理的に表現することができる力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <p>第1部 1 書いて伝える</p> <p>5 声とコミュニケーション</p> <p>【2学期】</p> <p>第1部 6 会議・議論・発表</p> <p>4 メディアを駆使する</p> <p>3 自己PRと面接</p> <p>【3学期】</p> <p>第1部 2 小論文・レポート入門</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・整った文を書くために大切なことを理解する。 ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・聞く、話す、伝えあうことを見つめ直し、コミュニケーションについて再考する。 ・場面にふさわしい話し方を身に付ける。 ・各自の役割を理解し、建設的な議論になるように協力しながら話し合いをする。 ・視覚的資料を用いた、効果的なプレゼンテーションをする。 ・さまざまな通信文の形式を理解し、相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解し、相手に応じた適切な言葉遣いや対応を身に付ける。 ・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・情報が編集されたものであることや、立場や条件が異なれば、情報の伝え方も異なることを理解させる。 ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などをまとめ、自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを考える。 ・就きたい職業に就くために必要なことや、志望先について十分な情報を集める。 ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えを身に付ける。 ・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・レポートの基本的な書き方を理解する。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		話す・聞く能力		書く能力		知識・理解
	言葉で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。		目的や場に応じて効果的に話すことができ、的確に聞き取り、話し合い自分の考えを深め、発展させている。		相手や目的、意図に応じた適切で効果的な表現の文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言語の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、①提出物 ②授業に取り組む姿勢 ③定期考査 を総合的に判断し、評価する。						
学習のアドバイス	1 様々な活動を通して自己を見つめ、他者の考え方を理解し、表現の幅を広げよう。 2 現代社会の問題に関心を持ち、自分で考える姿勢を身に付けよう。 3 他者を理解したうえで自己表現する楽しさを理解しよう。						
その他	評価においては、定期考査よりも日々の活動の状況や提出物が大切です。						

教科	国語	科目	国語表現	講座	3年CD講座	種別	必修
単位数	2	教科書	国語表現 改訂版(大修館書店)				
副教材	国語必携パーフェクト演習(尚文出版)						
授業形態	講義、演習、グループ学習、調べ学習、発表 など						
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上、社会生活の充実を図る態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 コミュニケーションの総合的な力。 2 自分で考え、自己の主張を論理的に表現することができる力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 第2部 1 言葉で遊ぶ 2 詩歌を楽しむ① 5 働く人にインタビュー 6 みんなで作ろう国語辞典 8 エッセイを書こう① 【2学期】 第2部 面接に向けて 2 詩歌を楽しむ② 3 魅力的なポスターを作ろう 9 パロディー物語を書こう 敬語のまとめ 話し合いのいろいろ 【3学期】 8 エッセイを書こう②			<ul style="list-style-type: none"> 言葉で表現することの楽しさを確認し、表現意欲を高める。 伝統的な日本の韻文に親しみ、言語感覚を養うとともに効果的に表現する能力を身に付ける。 職業や社会に対する関心を高める。 話す・聞く力を身に付ける。 言語感覚を磨き、豊かな語彙力を身に付ける。 日常生活に必要な漢字と語彙を学習する。 読み手を意識して書くことの大切さを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 試験に向けて面接の準備をすることで自己理解を深め、相手を意識した話し方を学ぶ。 俳句の創作を通して、自己表現の楽しさを理解し、生涯を通じて創作に親しむ姿勢を養う。 興味を引く宣伝を入れたポスターを作成し、相手の立場や気持ちを考える姿勢を養う。 書くことの苦手意識を克服し、楽しんで文章を書く姿勢を養う。 社会人としての基本的な話し方、聞き方の姿勢を再確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 高校3年間のまとめとし、自己表現のおもしろさと大切さを理解する。 日常生活に必要な漢字と語彙を学習する。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		話す・聞く能力		書く能力		知識・理解
	言葉で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。		目的や場に応じて効果的に話すことができ、的確に聞き取り、話し合い自分の考えを深め、発展させている。		相手や目的、意図に応じた適切で効果的な表現の文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言語の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、①提出物 ②授業に取り組む姿勢 ③定期考査 を総合的に判断し、評価する。						
学習のアドバイス	1 様々な活動を通して自己を見つめ、他者の考え方を理解し、表現の幅を広げよう。 2 現代社会の問題に関心を持ち、自分で考える姿勢を身に付けよう。 3 他者を理解したうえで自己表現する楽しさを理解しよう。						
その他	評価においては、定期考査よりも日々の活動の状況や提出物が大切です。						

教科	国語	科目	現代文B		講座	2年AB講座	種別	必修
単位数	3	教科書	精選 現代文B(東京書籍)					
副教材	改訂新版最新国語便覧 国語辞典							
授業形態	講義、グループ活動、発表など							
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 文章を的確に読解し、理解する力。 2 自分の意見を筋道立てて述べる力。他者の意見を聞き、それを踏まえたうえで、自己の意見を深め、表現できる力。 3 作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を理解し、さらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【1学期】 評論1 世界をつくり替えるために 小説1 山月記 評論2 相手依存の自己規定 詩歌 【2学期】 評論3 おじいさんのランプ 小説2 こころ 評論4 「である」ことと「する」こと 【3学期】 小説3 藤野先生 評論5 日本人の美意識 詩歌 プラタナス(俳句)				・論の展開、論拠、要旨を的確に捉える。 ・筆者の主張を読み取り、自分の意見を深める。 ・小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむとともに、登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。 ・表現上の特色を捉え、作品を深く読み味わう。 ・筆者の意見を正確に読み取り、論理的な文章を読む力を養う。 ・詩歌を読み味わい、鑑賞する。 ・筆者の主張を読み取り、現代社会の問題点に関心を持ち、自分で考える力を身に付ける。 ・小説を読み味わい、人物の心情を読み取り、自己の内面について考える。 ・明晰な論理と優れた文章表現の評論を読み解き、高い思考力・表現力を養う。 ・小説のを読み味わい、自己の人生や生き方について考えを深める。 ・論旨を的確に読み取り、日本と西欧の違いを考える。 ・俳句を通して創作の楽しさを理解する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し、表現する力を進んで高め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて話し合い、的確に聞き取り、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、場に応じた適切な表現の文章を書き、考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化、言葉の特徴や決まりなどについて理解を深め、知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 予習や課題にしっかり取り組もう。 2 日頃からノートの整理をしっかりと行おう。学期末にはノート提出があります。 3 授業中は積極的に意見を発言しよう。他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。							
その他	特になし							

教科	国語	科目	現代文B		講座	3年AB講座	種別	必修
単位数	3	教科書	精選 現代文B(東京書籍)					
副教材	改訂新版最新国語便覧 国語辞典							
授業形態	講義、グループ活動、発表など							
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 文章を的確に読解し、理解する力。 2 自分の意見を筋道立てて述べる力。他者の意見を聞き、それを踏まえたうえで、自己の意見を深め、表現できる力。 3 作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を理解し、さらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【1学期】 評論1 言語と記号 小説1 檸檬 随想 クレールという女 評論2 環境問題と孤立した個人 評論3 平気——正岡子規 【2学期】 小説2 舞姫 評論4 他者の声 実在の声 小説3 トランジット 評論5 サッカーにおける「基本的資本主義の精神」 【3学期】 評論6 抗争する人間				・抽象的な事柄を論じた評論を読み、考えを深める。 ・小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。 ・時間をかけて深まった筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。 ・取り上げられた話題をたどりながら近代の自然観を考え、環境問題についての考えを深める。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係を考える。 ・時代背景に注意しながら、主人公の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・比喩や例示の意図を理解することで要旨を捉え、哲学的な思考の方法を理解する。 ・登場人物の言動・心理などを表現に即して読み取り、「出会い」の持つ意味について考える。 ・筆者の述べるサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 ・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し、表現する力を進んで高め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じた話し合い、的確に聞き取り、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、場に応じた適切な表現の文章を書き、考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化、言葉の特徴や決まりなどについて理解を深め、知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 予習や課題にしっかり取り組もう。 2 日頃からノートの整理をしっかりと行おう。学期末にはノート提出があります。 3 授業中は積極的に意見を発言しよう。他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。							
その他	特になし							

教科	国語	科目	現代文A	講座	2年C講座	種別	必修
単位数	2	教科書	新編現代文A（第一学習社）				
副教材	改訂増補最新国語便覧、国語辞典						
授業形態	講義、グループ活動、発表など						
科目の目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する力。 2 文章の調子を味わいながら音読や朗読をしたり、印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりできる力。 3 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 一 新しい発見 なぜ“コロンブスの卵”を描くのか 新しい地球観 二 小説を読む(一) 調律師のみ子さん デューク 【2学期】 三 言語と文化 数え方で磨く日本語 犬も歩けば棒に当たる 四 詩を味わう 汚れっちまった悲しみに 他 五 小説を読む(二) 相棒 【3学期】 六 人間と文化 花女房 コミュニケーションの文化 七 小説を読む(三) こころ			・文章の流れをつかみ、基礎的な読解方法を身に付ける。 ・扱われている課題を自身に引き寄せて考え、視野を広げる。 ・小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を鑑賞する。 ・作品世界の読解を踏まえ、小説の内容を批評できるようになる。 ・筆者の主張、考え方を適切に読み取る。 ・言葉の背景にある文化や思考について深く考える。 ・文体や修辞など表現上の特色を捉え、作品を味わう。 ・個々の作者の作風の特徴をつかみ、感動の焦点を明らかにする。 ・小説を読み味わうおもしろさを体験し、短編小説を深く読み込む力を身に付ける。 ・作品のテーマを自身の問題として考える姿勢を身に付ける。 ・論の展開に即して、文章を正確に読解する力を身に付ける。 ・文章の学習を通して、身近な文化について考える。 ・近代の長編小説を読解・鑑賞する力を身に付ける。 ・小説表現の豊かさを学び、以後の読書生活に反映する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
	文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。		目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。		言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、①定期考査、②提出物、③授業に取り組む姿勢、を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 予習や課題にしっかり取り組もう。 2 日頃からノートの整理をしっかり于行おう。学期末にはノート提出があります。 3 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。						
その他	落ち着いた環境で静かに読書をする習慣を身に付けよう。						

教科	国語	科目	現代文A		講座	3年CD講座	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校新編 現代文A(第一学習者)					
副教材	改訂版最新国語便覧 国語辞典 問題集「パーフェクト演習」							
授業形態	講義、グループ活動、作品作成 発表など							
科目の目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 文章を正確に読み取り、理解する力と読書に親しむ姿勢。 2 他者の意見を聞き、自分の意見を深め、表現する力。 3 作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を理解し、自己の考え方に結び付けて考える力。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【1学期】 人生の風景 ワスレナグサ 小説を読む(四) ひよこの眼 社会と文化 クマを変えてしまう人間 【2学期】 小説を読む(五) いろはにこんぺいとう 人間と社会 経験の教えについて 言語活動 短歌と俳句 【3学期】 小説(六) 山月記				・随想に描かれた、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・登場人物の状況や心情を読み取り、小説のおもしろさを理解する。 ・評論を読んで筆者の意見を読み取り、自分の考えを深める。 ・小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむとともに、登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。 ・評論を読み解き、論の組み立て方や要旨を的確に捉える。 ・近代社会の問題点と自己の生き方について考える。 ・短歌・俳句に関する基本事項を理解する。 ・短歌や俳句に親しむ姿勢と、生涯を通じて創作にかかわる態度を養う。 ・長編小説をじっくりと読むことで、小説のおもしろさを理解し、読書に親しむ姿勢を育てる。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し、表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話すことができ、的確に聞き取って、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた表現による文章を書いて自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取り、目的に応じて文章を読み解いて考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 課題にしっかり取り組もう。 3 日頃からノートの整理をしっかりと行おう。学期末にはノート提出があります。 4 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。他の人の意見にもきちんと耳を傾け、自分の考えをさらに深めてみよう。							
その他	特になし							

教科	国語	科目	古典B	講座	2年A(文)B講座	種別	必修
単位数	3	教科書	精選 古典B改訂版(大修館書店)				
副教材	基礎からの古典文法、改訂新版最新国語便覧、古語辞典・漢和辞典						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 古典における基礎的知識と内容を的確に読み取る力。 2 古典作品に表れた古人のものの見方、感じ方、考え方を理解し、さらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】 説話 「宇治拾遺物語」「十訓抄」 故事成語 音・塞翁馬 他 随想(一) 「徒然草」 史話・史伝 「史記」 物語(一) 「伊勢物語」</p> <p>【2学期】 随想(二) 「枕草子」 漢詩 秋甫歌・東高 他 物語(二) 「大鏡」「能登殿最期」 文章 桃花源記 日記 「土佐日記」「更級日記」</p> <p>【3学期】 物語(三) 「源氏物語」 思想 孔子と門人たち 人の性 和歌・歌謡・俳諧</p>			<ul style="list-style-type: none"> 展開の分かりやすい説話を読み解き、古文に親しむ。 基本的な語句の意味、用法を理解する。 漢文の基本を習得し、訓読できるようにする。 作者の人間観、社会観などを読み取り、それに対する自分の意見や考えを深める。 登場人物のものの見方や考え方、生き様、当時の時代背景について理解する。 登場人物の置かれた状況、行動や心情を把握し、話の展開を理解するとともに、作中の和歌を話の展開に沿って解釈する。 音読を通して、簡潔で凝縮された表現の美しさを味わい、作者のものの見方や感性、平安朝の人々の生活について理解する。 漢詩の決まりを理解し、表現のおもしろさを味わう。 古文の言い回しに慣れ、「歴史物語」「軍記物語」に描かれた人々の生き様を読み取る。 漢文の表現や話のおもしろさを味わい、人生や社会に対する洞察の深さを読み取る。 日記文学の特徴を理解し、そこに描かれた作者の心情を読み取る。 「源氏物語」の人間模様や人物の心情を読み味わい、人の心のあり様について考える。 古代中国を代表する思想に触れ、その考え方の特徴を理解させる。 和歌の表現を理解するとともに、人々の豊かな感性を読み味わう。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。		古典を読んで思想や感情などを的確に捉え、その価値を考察して、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③小テスト ④授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 予習・復習や課題にしっかり取り組もう。決して最初から答えを写さないこと。 2 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。						
その他	大学入試センター試験、私大入試に対応できる知識・理解を身に付けることを目標として授業を進める。						

教科	国語	科目	古典B	講座	2年A(理)講座	種別	必修
単位数	3	教科書	精選 古典B改訂版(大修館書店)				
副教材	基礎からの古典文法、改訂新版最新国語便覧、古語辞典・漢和辞典						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 古典における基礎的知識と内容を的確に読み取る力。 2 古典作品に表れた古人のものの見方、感じ方、考え方を理解し、さらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <p>説話 「宇治拾遺物語」「十訓抄」</p> <p>故事成語 音・塞翁馬 他</p> <p>随想(一) 「徒然草」</p> <p>史話・史伝 「史記」</p> <p>物語(一) 「伊勢物語」</p> <p>【2学期】</p> <p>随想(二) 「枕草子」</p> <p>漢詩 秋甫歌・東高 他</p> <p>物語 「大鏡」「能登殿最期」</p> <p>文章 桃花源記</p> <p>日記 「土佐日記」「更級日記」</p> <p>【3学期】</p> <p>物語(三) 「源氏物語」</p> <p>思想 孔子と門人たち 人の性</p> <p>和歌・歌謡・俳諧</p>			<ul style="list-style-type: none"> 展開の分かりやすい説話を読み解き、古文に親しむ。 基本的な語句の意味、用法を理解する。 漢文の基本を習得し、訓読できるようにする。 作者の人間観、社会観などを読み取り、それに対する自分の意見や考えを深める。 登場人物のものの見方や考え方、生き様、当時の時代背景について理解する。 登場人物の置かれた状況、行動や心情を把握し、話の展開を理解するとともに、作中の和歌を話の展開に沿って解釈する。 音読を通して、簡潔で凝縮された表現の美しさを味わい、作者のものの見方や感性、平安朝の人々の生活について理解する。 漢詩の決まりを理解し、表現のおもしろさを味わう。 古文の言い回しに慣れ、「歴史物語」「軍記物語」に描かれた人々の生き様を読み取る。 漢文の表現や話のおもしろさを味わい、人生や社会に対する洞察の深さを読み取る。 日記文学の特徴を理解し、そこに描かれた作者の心情を読み取る。 「源氏物語」の人間模様や人物の心情を読み味わい、人の心のあり様について考える。 古代中国を代表する思想に触れ、その考え方の特徴を理解させる。 和歌の表現を理解するとともに、人々の豊かな感性を読み味わう。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。		古典を読んで思想や感情などを的確に捉え、その価値を考察して、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③小テスト ④授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 予習・復習や課題にしっかり取り組もう。決して最初から答えを写さないこと。 2 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。						
その他	大学入試センター試験、私大入試に対応できる知識・理解を身に付けることを目標として授業を進める。						

教科	国語	科目	古典B	講座	3年A(理)講座	種別	必修
単位数	2	教科書	精選 古典B改訂版(大修館書店)				
副教材	基礎からの古典文法、改訂新版最新国語便覧、古語辞典・漢和辞典						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 古典における基本的知識をもとに、内容を的確に読み取る力。 2 古典作品に表れた古人のものの見方、感じ方、考え方を理解し、さらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 説話 「古今著聞集」 説話と寓話 不死之薬 他 随筆 「枕草子」 史伝 「史記」 【2学期】 物語(一) 「大鏡」 漢詩 行行重行行 子夜呉歌 他 日記 「蜻蛉日記」 物語(二) 「源氏物語」 思想 無為自然 法治の思想 他 【3学期】 評論 古今和歌集仮名序 問題演習			<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の人間像を読み取るとともに、当時の人々の生き様を考える。 漢文の書かれた内容を読み取り、表現や論理のおもしろさ、巧みさを味わう。 「枕草子」に描かれた宮廷生活の様子や当時の人々の生活を理解し、作者の感性を読み味わう。 史記を読解しながら、「荊軻」を中心とした心情描写や人物像を読み味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力に触れる。 「歴史物語」に描かれた内容を通して、人物像を読み取り、時代を作ってきた人々の思いに触れる。 古体詩の特徴を理解する。 日記に描かれた筆者の心情を読み味わう。 「源氏物語」の読解・鑑賞を通して、時代を超えた人間の真実に触れる。 それぞれの思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、わが国の文化や社会に与えた影響についても考える。 古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方をすることで、わが国の伝統と文化について理解を深める。 大学入試センター試験に向けて問題演習に取り組む。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。		古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③小テスト ④授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 予習・復習や課題にしっかり取り組もう。決して最初から答えを写さないこと。 2 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。						
その他	大学入試センター試験、私大入試に対応できる知識・理解を身に付けることを目標として授業を進める。						

